

国立赤城青少年交流の家「野外活動センター」(所要時間 1 時間 45 分)

### 【ネイチャーゲーム】



(ねらい)  
フィールドビンゴを通して、木や森について考える。



移動

国立赤城青少年交流の家「山のキャンプ場」(所要時間 3 時間)

### 【「おやきパン」作り、ウインナーの調理】



(ねらい)  
・ 野外調理を通して共同作業を楽しむことができる  
・ 先人の知恵を知る



移動

国立赤城青少年交流の家「研修棟」(所要時間 2 時間)

【竹工クラフト】材料を提供し、子どもたちに自由につくらせる (例) 篠笛、壁掛け(リース)等  
(ねらい) 自然物を利用した創作活動を行う。



移動

国立赤城青少年交流の家(所要時間 45 分)

ナイトウォーク(コース：(施設内の)橋 テニスコート 富士見村野球場)  
ナイトウォーク終了後「集いの広場」で天体観測

(ねらい)  
・ 暗闇での体験を通して人間の特性(暗順応など)を理解する。  
・ 天体観測を通じて星には様々な色・明るさがあることを理解する。

### 「おやきパン」の作り方

強力粉、マーガリン、ドライイースト、水をボールまたは厚手のビニール袋(道具がない野外ではこうしている)に入れ、耳たぶくらいの硬さになるまで手でもむ。(多少時間をおくとふくらみが大きくなる。)水については少しずつ入れていくことがコツ。

5~6個に均等に分け、へび状にして篠棒(これが最適)に隙間なく巻きつけ、火(遠火)でじっくりときつね色になるまで焼きあげる。



**指導体制**：指導者 2 名、指導助手 7 名 に対し **対象人数**：30～35 人

**準備**：カマド 8 つ、鉄板 8 つ、野菜、ウインナー、まな板、包丁、マイ箸、マキ、マッチ、うちわ、杉の葉(炊きつけ用)、  
パンの材料【(5～6 人分) 強力粉 300g、マーガリン 15g(大さじ 1)、ドライイースト 6g、水 200cc、好みにより砂糖・ココア粉末・チョコを砕いたもの】

**留意点**：スタッフの入念な打ち合わせ、参加人数は 20 人程度がよい。  
マッチの扱いから火起こし、炭・灰の片付けまで安全に留意しながら、各自に体験させる。  
竹工については刃物の取扱いに留意する。

**プログラムの関連性**：

#### 小学校学習指導要領

##### 理科 内容 B 生命・地球

3 年 (2) **身近な自然の観察** 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。

4 年 (2) **季節と生物** 身近な動物や植物を探したり育てたりして、季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ、それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。

(4) **月と星** 月や星を観察し、月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにする。

ア 月は日によって形が変わって見え、1 日のうちでも時刻によって位置が変わること。

イ 空には、明るさや色の違う星があること

ウ 星の集まりは、1 日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わること。

5 年 (1) **植物の発芽・成長・結実** 植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること

ウ 植物の生長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもと  
が実になり、実の中に種子ができること。

6 年 (3) **生物と環境** 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。